

阿寒摩周国立公園エゾシカ対策実施計画
5年間（令和3年度～令和7年度）の対策整理表

地区	主な計画 該当箇所	対策目標・方針		項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	主な実施主体			
共通	第4章 全般	（対策目標） 保全対称である生態系を構成する森林の更新及び高山植物の生育の維持 ※農林業等への被害軽減にも資するよう留意		協議会運営 （情報共有）	協議会運営					計画の 見直し・ 次期計画の 策定	環境省		
					情報共有のあり方検討・仕組みづくり						環境省（構成機関と連携）		
				モニタリング（広域） とその結果共有	被害状況の把握（農林業被害調査／森林生態系影響調査等）						北海道・市町村／林野庁		
					生息状況の把握（ライトセンサス調査、GPS追跡等）						環境省・北海道・市町村		
					対策状況の把握（捕獲・目撃頭数、防鹿柵の設置状況等）						北海道・市町村		
	第3章 3-4			その他	狩猟規制見直しによる捕獲圧の調整、捕獲個体の適正処理・有効活用、担い手確保、普及啓発促進など必要に応じて検討・実施						北海道（構成機関と連携）		
	阿寒地区	第3章 3-1	（対策方針） 森林の天然更新及び特徴的な高山植物が生育できる状態の維持・回復を目的とした各種対策の継続 阿寒湖周辺では、具体的な目標設定や目標達成に向けた対策手法の検討・試行なども実施	代表的な保全対象	防除対策	既存の対策に加え、必要に応じて防鹿柵等の検討・設置・管理					環境省・林野庁・森林所有者		
				阿寒湖岸の森林、湖上に浮かぶ島々及びバンケトー・バンケトーを含む雄阿寒岳一帯		捕獲対策	従来の手法による捕獲・捕獲支援					林野庁・森林所有者	
目標達成に向けた捕獲手法検討					環境省・北海道（道総研）・森林所有者								
モニタリング					調査試行	植生調査				環境省・北海道（道総研）			
					天然更新を目標とした調査手法検討					環境省・北海道（道総研）・森林所有者			
雌阿寒岳の中腹以上及びオンネトー周辺				モニタリング	調査試行	植生調査				環境省・北海道（道総研）			
摩周地区				第3章 3-2	（対策方針） エゾシカの生息状況や保全対象へのエゾシカによる被害に関する情報把握	・屈斜路湖及び湖の北西側外輪山 ・硫黄山（アトサヌプリ）山麓及びその周辺 ・摩周カルデラの外輪山及び西別岳	防除対策	既存の対策に加え、必要に応じて防鹿柵等の検討・設置・管理					環境省・林野庁
								捕獲対策	従来の手法による捕獲・捕獲支援				
							目標達成に向けた捕獲手法検討					環境省	
	モニタリング	調査試行	植生調査				環境省・北海道（道総研）						
		行動圏・季節移動状況等の把握（GPS追跡等）					環境省						
	隣接地区	第3章 3-3	（対策方針） 鳥獣被害防止計画等に基づく各種エゾシカ対策の継続				防除対策	防鹿柵等の設置・管理					市町村（林野庁・北海道と連携）
捕獲対策				捕獲					市町村（林野庁・北海道と連携）				

…必要に応じて実施するもの …実施したもの

※本表は、「阿寒摩周国立公園エゾシカ対策実施計画」の内容を要約・整理し、5年間の対策及びその実施主体について概ねの方向性を示したものです。